



JP4261692

Biblio

Page 1

Drawing

**esp@cenet**

## METHOD FOR FIXEDLY BONDING SEAT SKIN TO CUSHION PAD

Patent Number: JP4261692  
Publication date: 1992-09-17  
Inventor(s): MIYODA AKIHIRO; others: 01  
Applicant(s): TOKYO SEAT.KK  
Requested Patent: ☐ JP4261692  
Application Number: JP19900415816 19901231  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B68G7/05; A47C31/02; B29C65/36; B29C65/42; C09J5/06  
EC Classification:  
Equivalents: JP3203489B2

### Abstract

**PURPOSE:** To fixedly bonding a seat skin to a cushion pad by the use of a hot melt bonding agent without heating or melting.

**CONSTITUTION:** A hot melt bonding agent mixed with a metal made exothermic by induction heating 3a with a high frequency electromagnetic field 3 is applied to the surface side of a cushion pad 6. After a seat skin 5 is placed on the cushion pad, the metal material is made exothermic by electromagnetic induction to melt the hot melt bonding agent so that the seat skin 5 is attachably pressed against the cushion pad 6.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

5

るとよく、図3は電磁誘導コイル3aから電界を発生させつつ、上型2でシート表皮5を押えた状態を示す。その状態で電界がホットメルト接着剤7の金属材料に作用すると、金属材料が発熱することによりホットメルト接着剤7が内部発熱で熔融するようになる。

【0016】ホットメルト接着剤7が熔融するのに伴って高周波発振器3の作動を停止させ、上型2を下降動させてシート表皮5をクッションパッド6に押圧させる。図4は上型2でシート表皮5を押圧した状態を示し、その押圧で熔融したホットメルト接着剤7がシート表皮5をクッションパッド6に接着固定させるようになる。従って、この工程ではシート表皮5に直接加熱作用を加えなくてもクッションパッド6にシート表皮5を接着できるから、シート表皮5の表皮材5aが布地材等で形成されていても起毛を押潰すことによる白化現象等のシート表皮5を劣化させる如き事態を招かない。また、上型2の押圧面2bはシート座面部を所定形状に付形する凸面形状に形成されているため、その形状に応じてシート表皮5をクッションパッド6に形状出しすることにより押圧接着できる。

【0017】この上型2によるシート表皮5の押圧接着後圧縮状態のまま、冷却エアーを直ちに上型2に送り込むことによりエアー流出孔2a、2a・・・からシート表皮5に向けて冷却エアーを噴出する。図5は冷却エアーの吹付け状態を示し、その冷却エアーで熔融したホットメルト接着剤7を強制冷却すると初期接着強度を向上できて短時間に接着作業を行えるようになる。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るクッションパッドに対するシート表皮の接着固定方法に依れ

6

ば、金属材料の内部発熱によるホットメルト接着剤の熔融でシート表皮をクッションパッドに接着できるから、シート表皮を劣化させずしかも座者に違和感を与える如き著しい異硬度部分も発生させることがない。また、作業環境を損なわず、シート表皮を簡単な作業でクッションパッドに接着できる。更には、シート座面部の形状出しを正確に行い得て、シート表皮をクッションパッドに短時間で接着できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のクッションパッドに対するシート表皮の接着固定方法を適用する装置の説明図である。

【図2】本発明による方法でシート表皮を接着するクッションパッドの説明図である。

【図3】電磁誘導による電界の作用状態を示す説明図である。

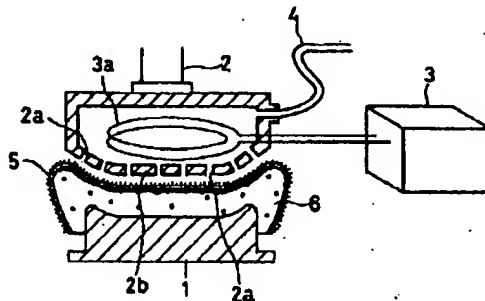
【図4】プレス型によるシート表皮の押圧状態を示す説明図である。

【図5】シート表皮の押圧接着後強制冷却状態の説明図である。

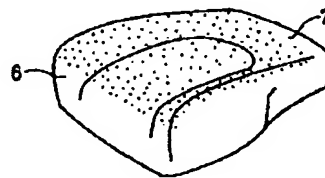
20 【符号の説明】

- |      |                 |
|------|-----------------|
| 1, 2 | プレス型            |
| 2    | プレス上型           |
| 2a   | 押圧面             |
| 3    | 高周波発振器          |
| 3a   | 電磁誘導コイル         |
| 4    | 強制冷却エアー用ホース     |
| 5    | シート表皮           |
| 6    | クッションパッド        |
| 7    | 金属材料混入ホットメルト接着剤 |

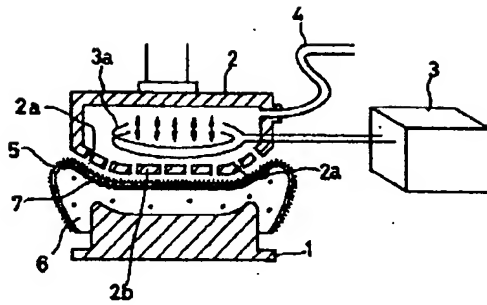
【図1】



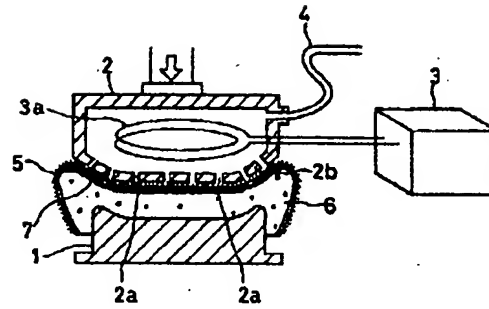
【図2】



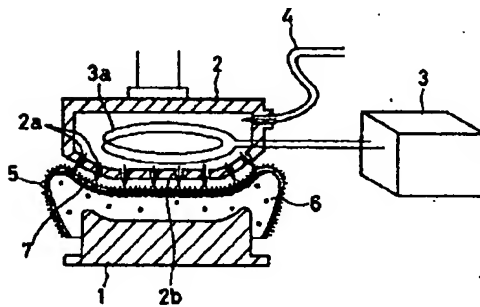
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>4</sup>  
 // B 2 9 K 105:04  
 B 2 9 L 31:58

識別記号 庁内整理番号  
 4F  
 4F

F I

技術表示箇所